

不動産・まちづくりのさらなる展開

地域の皆様と連携して安心して暮らし・過ごせるコミュニティを形成し、地域・社会の課題解決に貢献しています。また、拠点駅の大規模開発と周辺まちづくりの促進、エリアマネジメントの推進により、人々が訪れたいくなる、いきいきとしたまちを創出しています。

マーケティング力とマネジメント力を強化し、拠点駅や沿線を中心に「駅・まち」の魅力を高めるまちづくりを推進

拠点駅開発



イノゲート大阪
・商業施設「バルチカ03」、
フレキシブルオフィス

2024年7月開業

新しい改札口と直結する圧倒的な利便性を誇る駅ビルを開発。多様化するワークスタイルに対応



広島駅新駅ビル開発・
ホテルグランヴィア広島
サウスゲート
商業施設minamoa

2025年3月開業予定

新駅ビルによる賑わいづくりにあわせ、路面電車のJR改札口への乗り入れなど交通ネットワークの利便性向上により、まちの魅力を高める



三ノ宮駅新駅ビル開発

2029年度開業予定

神戸の魅力を発信する新駅ビルの開発と共に、行政や周辺事業者と連携した歩行者ネットワークの構築、周辺まちづくりにより、エリアの拠点性を向上

JPタワー大阪
・商業施設「KITTE大阪」、
劇場「SkyシアターMBS」、
ハイクラスホテル
「大阪ステーションホテル」

2024年7月開業

西日本最大級のオフィスや、商業施設と劇場、グループの象徴的なホテルを設け、大阪駅周辺の賑わい創出に貢献する

※日本郵便株式会社、株式会社JTとの共同事業

プロジェクト効果・設備投資額

■ プロジェクト効果

	総投資額	EBITDA想定*
大阪	1,000億円	90億円
広島	600億円	50億円

*2027年度におけるグループ全体での効果。

■ 本計画期間中の設備投資額**

不動産・まちづくり	2,650 億円
-----------	----------

**2023年度～2025年度の累計。出資を含む。

TOPICS 大阪駅周辺エリアがさらに楽しく、ウォーカブルで回遊しやすいまちに進化

2024年7月31日、大阪駅西側に「イノゲート大阪」、「JPタワー大阪」内の商業施設「KITTE大阪」「大阪ステーションホテル」が開業しました。各施設をつなぐ歩行者通路も順次開通し、大阪駅西側エリアにおける回遊性が高まりました。

去る2023年3月には、大阪駅に「はるか」が停車する新たな地下ホーム(大阪駅うめきたエリア)が開業したことで関西国際空港へのアクセスが改善したほか、みどり・イノベーションをコンセプトとした「グラングリーン大阪」が開業し(2024年9月先行まちびらき)、今後も新たな商業施設「うめきたグリーンプレイス」の開業(2025年3月)、「サウスゲートビルディング」の大規模リニューアル(2029年グランドオープン予定)が予定されており、大阪駅周辺エリアにはさらに都市としての魅力・機能が集積し、多様な人々が集まり価値創造が行われる「国際競争拠点」となしていきます。

JR西日本グループではこれらを絶好の機会と捉え、なにわ筋線などの鉄道ネットワークの整備とあわせてエリアの価値をさらに高め、関西都市圏ブランドの確立をめざしていきます。



コミュニティ形成につながる場づくり

行政や周辺事業者などとの連携や、JR西日本の交通ネットワークの強みを活かして、拠点駅以外でもまちづくりを推進しています。

めざす姿

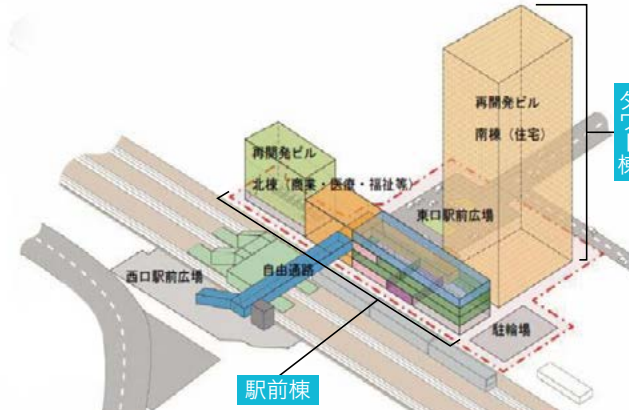
明石市との連携による「地域課題の解決」と広域鉄道ネットワークを活かした「便利で住みよいまち」の一体的実現

めざす姿

多様なスタートアップや最先端企業の集積による「働きたいまちづくり」



西明石駅南地区



向日町駅東地区